**２０２６年度採用　大学院奨励研究員申請者に関する評価書**

・次頁に記載した【評価書作成上の注意点】をよく読んで記入してください。

・申請者が令和８年度日本学術振興会特別研究員に申請した場合は、本評価書の代わりに日本学術振興会に提出した評価書の写し【厳封】を提出していただくことも可能です。

・評価項目については、令和８年度日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書(ＤＣ)を転用。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価書作成者 | 氏 名※署名または記名・押印 |  | 印 |
| 部 局 名 |  |
| 職 名 |  |
| 申請者名 |  | 申請者との関係 |  |
| 申請者の(1)「研究者としての強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、具体的に入力してください。----------------------------------------------------------------------------------------------------------------- (1) 研究者としての強み  (2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素 |

関西学院大学

申請者の研究者としての将来性について

（特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など、申請者の将来性を判断する上で特に参考になると思われる事項があればそれに言及して記入してください。）

【評価書作成上の注意点】

＊本評価書作成の際は、日本語又は英語で記入してください。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。

＊評価書作成者は、申請書記載の「現在の研究指導者」です。現在、研究指導の委託により他大学等において研究指導を受けている場合は、「現在の研究指導者」が委託先の受入研究者と連絡をとって作成してください。

＊本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください。

＊本評価書は両面印刷としてください。本書以外に新たに用紙を加えることはできません。

＊封筒（角2）に入れ厳封の上、研究推進社会連携機構事務部（大学院担当）まで送付してください（封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください）。

関西学院大学